



第3回 可児市上下水道事業 経営審議会

目次

1. 前回までのまとめ P1
2. 財政収支推計について P4
3. 下水道使用料の方向性について P14
4. 井戸水等使用世帯の認定水量の方向性について P18
5. 次回のスケジュールについて P22



1

前回までのまとめ

2

第1回審議会

- ①可児市の上下水道事業の概要
- ②公営企業会計について
- ③決算額の推移

第2回審議会

- ①今後10年間の収入と支出の見通し
- ②井戸水等認定数量について
- ③県内団体との比較

第3回審議会

- ①財政収支計画を基にした
下水道使用料の検討
- ②井戸水等認定水量の検討

適正な下水道使用料について

- ①収益的収支の見通しについて ※第2回資料P6～9に記載
- ②資本的収支の見通しについて ※第2回資料P11～13に記載
- ③10年程度の中長期的期間で、下水道使用料をはじめとした収入・支出を推計した収支計画を作成



①～③を踏まえて令和8～12年度の使用料算定期間（5年間）における下水道使用料を検討していただきます。

財政収支推計について

収益の収支計画（収入）

実績 ← ⇒ 推計

（単位：千円）

	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業収益	1,484,022	1,482,953	1,436,757	1,433,288	1,430,018	1,425,113	1,420,070	1,417,229	1,414,895	1,411,465	1,408,560	1,405,650
使用料収入	1,409,871	1,411,977	1,390,753	1,385,441	1,379,969	1,374,377	1,368,690	1,362,932	1,357,117	1,351,258	1,345,365	1,339,447
雨水負担金等	74,151	70,976	46,004	47,847	50,049	50,736	51,380	54,297	57,778	60,207	63,195	66,203
営業外収益	1,333,416	1,381,081	1,405,952	1,247,500	1,267,863	1,296,236	1,330,507	1,344,548	1,371,075	1,375,748	1,401,648	1,425,184
一般会計負担金	791,381	828,415	867,141	726,290	749,781	774,000	799,598	824,747	852,282	879,602	907,813	936,947
長期前受金戻入	531,408	529,158	523,811	521,210	518,082	522,236	524,909	514,801	518,793	496,146	493,835	482,237
補助金等	10,627	23,508	15,000	0	0	0	6,000	5,000	0	0	0	6,000
特別利益	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益合計	2,817,443	2,864,034	2,842,709	2,680,788	2,697,881	2,721,349	2,750,577	2,761,777	2,785,970	2,787,213	2,810,208	2,830,834

収益の収支計画（支出）

実績 ← ⇒ 推計

（単位：千円）

	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
営業費用	2,328,617	2,396,148	2,453,481	2,479,262	2,506,733	2,524,461	2,588,108	2,562,879	2,565,681	2,554,960	2,565,400	2,610,528
職員給与費	76,025	80,153	64,306	65,528	66,773	68,041	69,334	70,652	71,994	73,362	74,756	76,176
動力費	15,576	22,144	21,052	21,452	21,859	22,275	22,698	23,129	23,569	24,017	24,473	24,938
修繕費	3,375	4,404	21,357	21,763	22,176	22,598	23,027	23,464	23,910	24,365	24,828	25,299
材料費	530	335	620	631	643	656	668	681	694	707	720	734
薬品費	432	524	533	543	553	564	575	585	597	608	620	631
委託料	235,846	256,524	305,224	271,459	291,125	292,475	339,705	300,346	286,489	298,133	299,616	346,982
流域下水道維持管理負担金	621,891	612,274	654,323	700,999	696,555	692,098	686,557	681,023	675,482	669,942	664,415	658,081
減価償却費	1,345,325	1,352,536	1,358,141	1,368,566	1,378,325	1,396,618	1,415,989	1,422,827	1,442,145	1,432,965	1,444,660	1,445,914
資産減耗費	6,452	18,738	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076	7,076
総係費・負担金等	23,165	48,516	20,849	21,245	21,648	22,060	22,479	33,096	33,725	23,785	24,236	24,697
営業外費用 支払利息等	158,536	126,781	119,608	122,231	128,398	139,252	152,223	165,662	178,499	188,252	200,368	212,899
特別損失	1,670	907	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500
費用合計	2,488,823	2,523,836	2,573,589	2,601,993	2,635,631	2,664,213	2,740,831	2,729,041	2,744,680	2,743,712	2,766,268	2,823,927
純損益	328,620	340,198	269,120	78,795	62,250	57,135	9,746	32,736	41,290	43,501	43,941	6,906

資本的収支計画（収入・支出）

実績 ← ⇒ 推計

（単位：千円）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
資本の収入	916,284	793,887	1,124,326	1,105,375	1,272,134	1,311,534	1,295,832	1,227,665	1,077,230	1,122,877	1,104,381	1,052,482
企業債	393,200	449,700	677,500	680,400	776,500	846,500	838,100	796,700	673,900	729,900	727,400	705,500
一般会計会計出資金	418,216	302,317	252,657	205,806	146,465	130,865	123,563	66,796	61,661	46,308	32,812	32,813
国庫補助金	10,400	5,840	145,000	170,000	300,000	285,000	285,000	315,000	292,500	297,500	295,000	265,000
受益者負担金等	94,468	36,030	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169	49,169
資本の支出	1,995,692	1,766,411	2,133,950	2,029,805	2,138,106	2,180,760	2,192,495	2,046,669	1,846,759	1,854,350	1,798,160	1,720,527
建設改良費	506,463	596,695	1,086,923	1,125,023	1,371,023	1,438,523	1,481,823	1,437,323	1,277,323	1,340,423	1,335,423	1,283,583
うち職員給与費	20,719	22,235	34,096	34,744	35,404	36,077	36,762	37,461	38,172	38,898	39,637	40,390
企業債償還金	1,489,229	1,169,716	1,047,027	904,782	767,083	742,237	710,672	609,346	569,436	513,927	462,737	436,944
資本の収支	△ 1,079,408	△ 972,524	△ 1,009,624	△ 924,430	△ 865,972	△ 869,226	△ 896,663	△ 819,004	△ 769,529	△ 731,473	△ 693,779	△ 668,045

推計説明

項目	
営業収益	
使用料収入	人口：令和6年8月に改訂された「可児市人口ビジョン」を基に算定 有収水量：過去5年間（R2～R6）の実績を基に推計
雨水負担金等	雨水負担金の算定は、雨水処理に要する維持管理費及び資本費により算定
営業外収益	
一般会計負担金	総務省の定める公営企業繰出基準に基づき算定（R6～R8は農集会計統合に伴う基準外繰入金を見込んでいる）
長期前受金戻入	既存資産分＋新規投資分（国庫補助金＋受益者負担金等）を基に算定
補助金等	営業費用に係る国庫補助金を計上

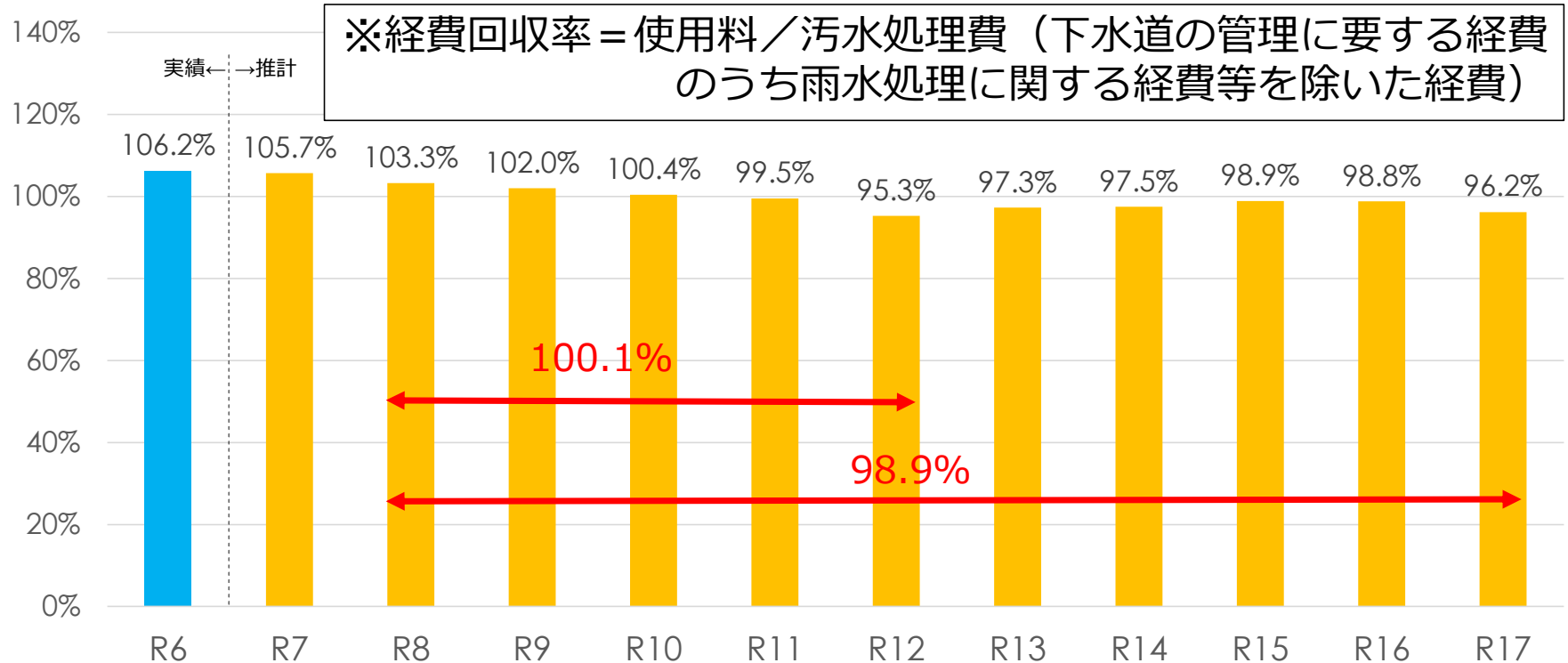
推計説明

項目	
営業費用	「職員給与費、動力費、修繕費、材料費、薬品費、委託料、総係費・負担金等」については消費者物価指数（R7.4日銀平均見込）R8+1.7%、R9以降+1.9%で見込む
職員給与費	職員体制はR6ベースとする R8から技術職員を資本的支出とするため、1名分減とする
流域下水道維持管理負担金	R6～R8は単価62円／m ³ 、R9以降は単価67円／m ³ で見込む 年度ごとの汚水量推計は人口ビジョン及び推移実績により推計
減価償却費	既存資産＋新規投資分を基に算定
資産減耗費	R2～R6実績の平均で算定
営業外費用	
支払利息	既存分＋新規借入分を基に算定 ※新規借入分の利率については借入期間30年未満は年率2%、30年以上は年率3%として推計

推計説明

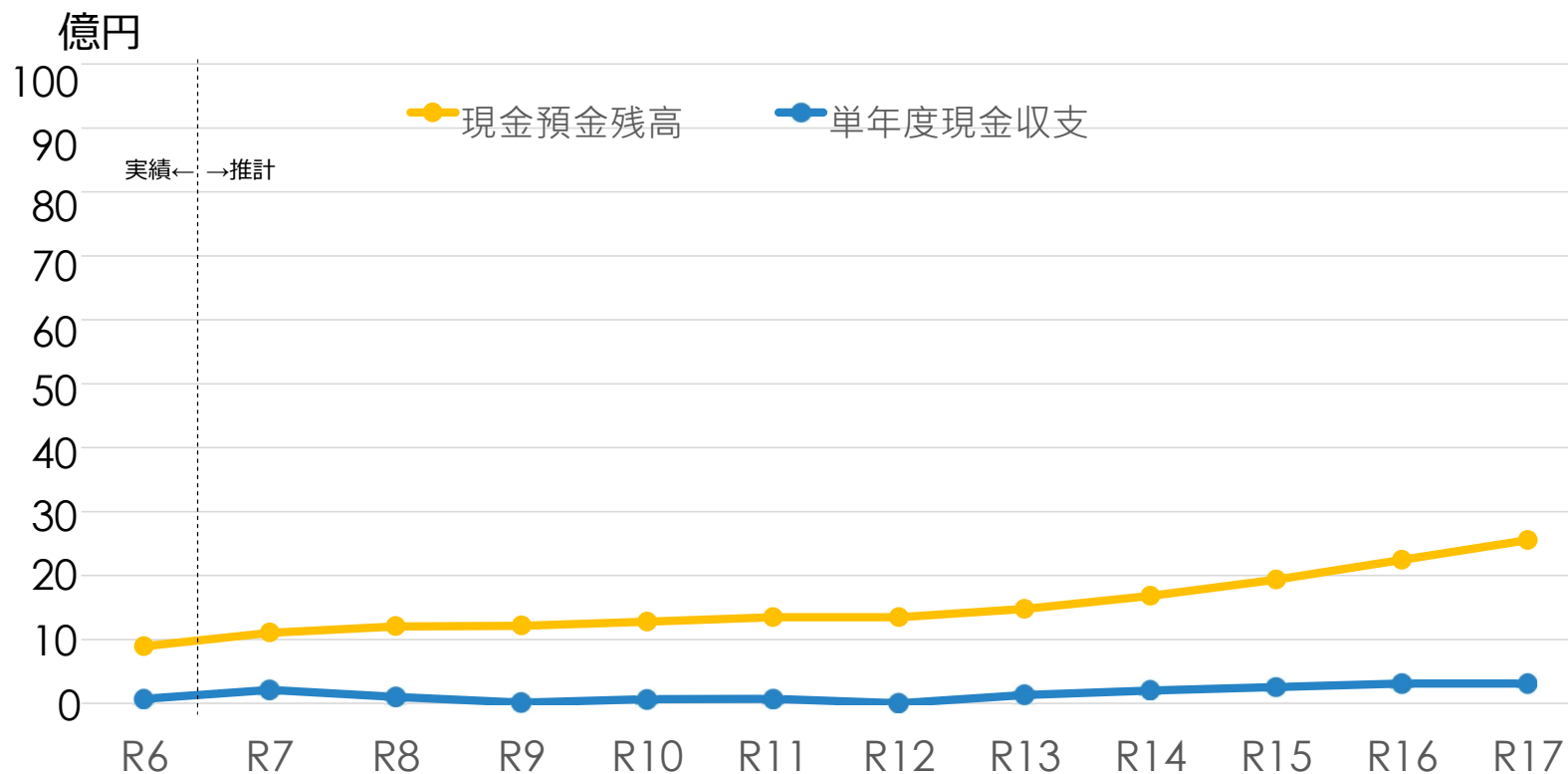
項目	
資本的収入	
企業債	起債対象事業費×100%（建設改良費から国庫補助金を除いたもの） 管渠は30年償還（据置1年）、それ以外については15年償還（据置1年）
一般会計出資金	総務省の定める公営企業繰出基準により算定（既存分＋新規借入分（流域下水道建設経費））
国庫補助金	建設改良費のうち補助対象経費×50%
受益者負担金等	R2～R6実績の平均で算定
資本的支出	
建設改良費	公共＋特環＋農集の事業費見込を集計 R8から技術職員を資本的支出とするため、1名分増とする（職員給与費）
企業債償還金	既存分＋新規借入分を基に算定

経費回収率の推移



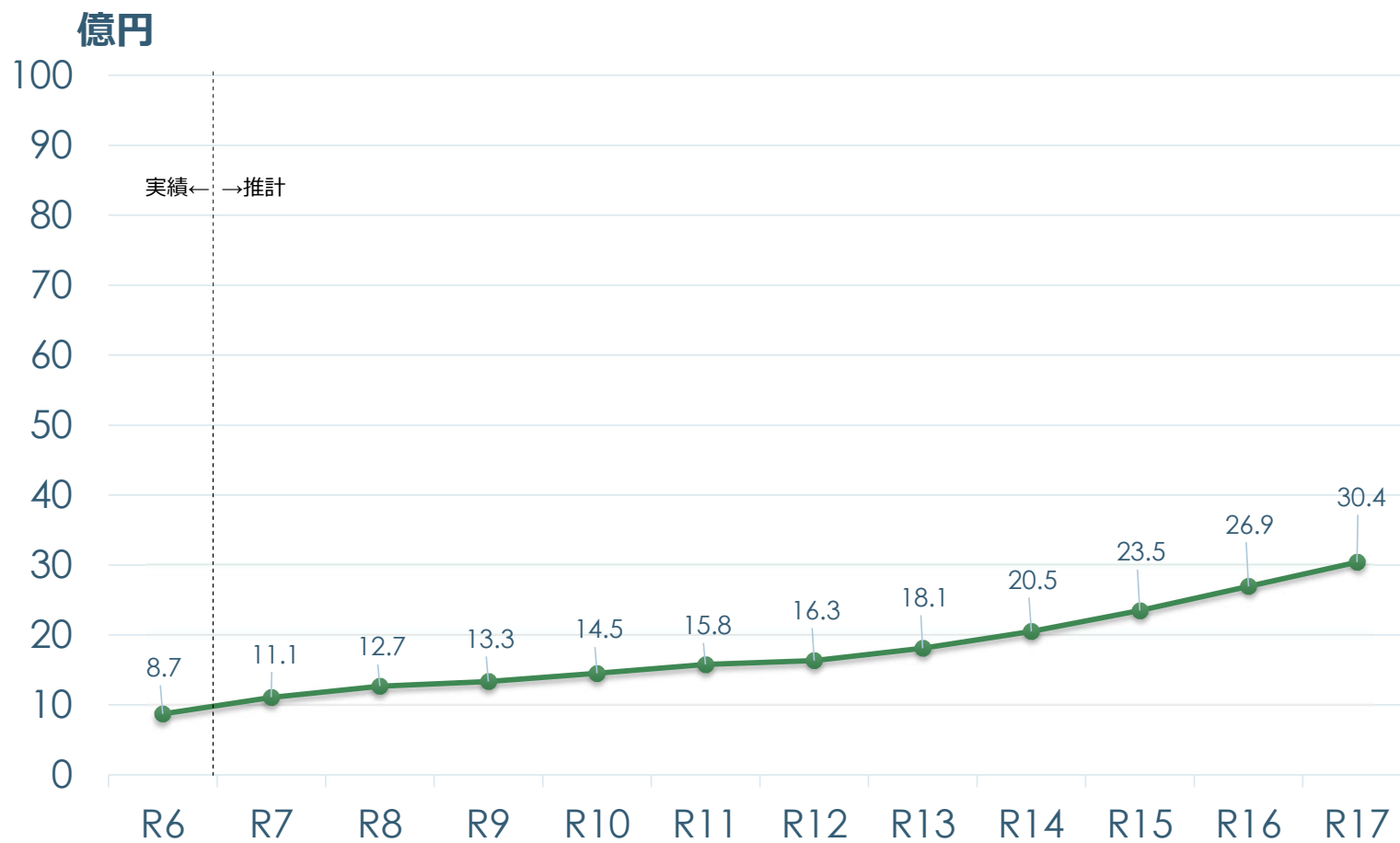
○使用料算定期間における経費回収率は平均100.1%となり、汚水処理に必要な経費を使用料で賄うことができます。令和8～17年度平均では98.9%となりました。

単年度現金収支と現金預金残高の推移



- 単年度現金収支は令和17年まで黒字を確保できる見込みです。
現金預金残高は、令和17年でおおよそ26億円となる見込みです。

年度末補てん財源の推移




下水道使用料の方向性について

使用料算定期間（R8～R12）における 下水道使用料について

- 今後の人口減少等による使用料収入の減少や、流域下水道維持管理負担金の単価改定や物価の上昇などの要因による費用の増加により利益が減少するものの、黒字を確保できる。
- 下水道を当初に整備した際に借り入れた企業債の償還が順次終了することから、償還金が減少する。
- 今後増加予定の老朽管路の修繕・改築等の事業実施に必要な資金は、補助金や企業債の発行等で確保できる。

使用料算定期間（R8～R12）における 下水道使用料について

- 使用料算定期間（R8～R12）において、経費回収率が100%を達成している。
- 算定期間中、単年度現金収支が黒字となり、純利益や補てん財源が確保できる見通し。
- 算定期間中、現預金残高が安定的に増加する見通し。



以上のことから下水道事業経営に必要な資金は十分確保できる見通しであり、現行の使用料水準は適正なものと考えられます。

現行使用料体系について

使用料区分		単価（税抜）
基本使用料		670円
	汚水量1m ³ につき	
従量使用料	10m ³ 以下	80円
	11m ³ 以上 40m ³ 以下	150円
	41m ³ 以上 250m ³ 以下	165円
	251m ³ 以上	175円

※使用料計算方法

使用水量が20m³の場合

➡ 基本使用料 670円・・・①

➡ 従量使用料

10m³×80円＝800円・・・②

(20－10) m³×150円
＝1,500円・・・③

(①＋②＋③) ×1.1＝3,267円

井戸水等使用世帯における認定水量の 方向性について

世帯別平均使用量

全体の
98%

世帯人数	件数	水量合計	月数合計	全体平均	認定水量	
					四捨五入	現行
1	5,694	2,151,659	193,202	11.14	11	12
2	10,495	6,464,596	363,952	17.76	18	19
3	5,649	4,162,143	192,484	21.62	22	22
4	4,476	3,607,506	153,454	23.51	24	24
5	1,416	1,302,369	48,797	26.69	27	27
6	340	352,961	11,611	30.40	30	30
7	67	78,895	2,194	35.96	36	33
8	21	27,056	730	37.06	37	36
9	3	4,736	108	43.85	44	39
10	4	6,516	144	45.25	45	42
計・平均	28,165	18,158,437	966,676	18.78		


※ 5人世帯までで全体の98%を占める

※ 2～5人世帯までは1人増すごとに+2～4m³

以降1人増すごとに
+3m³

井戸水等使用世帯における認定水量について

- ▶ 1人世帯、2人世帯における平均使用水量が現行認定水量より 1m^3 ずつ少ない。
- ▶ 5人世帯までで全世帯の98%を占める。
- ▶ 6人世帯以上は母数が少なく世帯ごとの使用量の差が大きいため、6人世帯以上については2人世帯→5人世帯の平均増加水量の1人当たり 3m^3 とする。（現行認定水量と同じ）



以上のことから1人世帯、2人世帯における認定水量を 1m^3 ずつ減少させることが妥当であると考えられます。

認定水量見直し（案）

世帯 人員	1人	2人	3人	4人	5人	5人を超え 1人増すごとに
現行	12m ³	19m ³	22m ³	24m ³	27m ³	3m ³
案	11m ³	18m ³	22m ³	24m ³	27m ³	3m ³
差	△1m ³	△1m ³	0m ³	0m ³	0m ³	0m ³

次回のスケジュールについて

令和7年度開催スケジュール（案）

回数	開催予定	内容	審議、報告内容
第1回	令和7年7月31日	上下水道事業について	<ul style="list-style-type: none"> ・可児市の上下水道事業の概要 ・公営企業会計、決算額の推移
第2回	令和7年9月1日	諮問（適正な下水道使用料について） 井戸水等使用世帯における認定水量について 県内団体との比較	<ul style="list-style-type: none"> ・今後10年間の収入と支出の見通し ・下水道使用料と併せた井戸水等認定水量の検討について
第3回	令和7年 10月28日	適正な下水道使用料について 意見聴取、とりまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・財政収支推計を基にした下水道使用料の検討 ・井戸水等認定水量の検討
第4回	令和7年 12月12日	答申（案）検討及び 令和6年度決算説明	<ul style="list-style-type: none"> ・答申（案）とりまとめ ・令和6年度決算説明、モニタリング
第5回	令和8年 1月～2月頃	令和8年度予算編成方針説明 経営戦略（案）説明	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度予算編成方針 ・経営戦略（案）説明
		答申	